

# 第27回 西富士ジャパクラシック

## 《 大会 規 定 》

### 【公認大会】

大会はJHF公認（JHFハンググライディング公認大会規則に則った大会）のものとする。JHF ハンググライディングシリーズ対象大会である。

### 【参加資格】

JHFフライヤー会員登録者でJHF XC 証を有するフライヤーであること。猪之頭エリア安全セミナーを受講済みであること。外国人は、JHF XCパイロットと同等の技能を有し、日本国内で有効な第三者賠償責任保険（JHFフライヤー保険と同等以上）に加入していること。

### 【大会期間】

大会期間は2016 年1月9 日より2016 年1月11 日とする。

### 【タイムスケジュール】

1 月 9 日	6:30am～ 猪之頭エリア安全セミナー（メインランディングにて実施） 7:00am～7:30am 受付、その後、開会式、競技説明〔場所＝大会本部YMCA〕
1 月 10 日～11 日	7:30am～8:00am 受付〔場所＝大会本部YMCA〕
1 月 11 日	5:00pm～ 閉会式

### 【位置説明】

大会本部はYMCA とする。本部に公式掲示板を設ける。機体解体場、機体駐機場は役員の指示に従うこと。

### 【運搬及び駐車】

グライダーの運搬及び回収はすべて選手自身が行う。テイクオフへは選手同士がまとまって上がり極力、車の台数を少なくする。車の回収は選手自身が行う。駐車場はメインランディング駐車場を使用する。農道及び牧草地は駐車禁止とする。ランディングへの道は北から南へ的一方通行とする。

### 【持参品】

大会参加時に持参するべきもの（使用できるGPS、JAA フライヤー登録証またはJHF フライヤー会員登録証、XC 証、猪之頭エリア安全セミナー修了証）

### 【使用可能なGPS】

JHF 競技委員会が認めたものとする。質問は直接JHF 競技委員会に問い合わせること。

### 【参加機体】

原産国あるいはJHSCによって認められている国の耐空証明が明示されたものとする。

参加機体は選手が申込時に登録した機体であること。

使用機体が破損した場合は変更を認める。機体変更の場合は、競技委員長に変更の旨を伝え機体検査を受けること。

【無線機】スカイレジャー用デジタル無線。JPA無線（GPS付無線）を併用すること。

### 【フライト失格、大会失格】

雲中飛行、空中接触等、危険な飛行と判断される場合や、帰着申告時間内未提出、フライトルール違反 はそのフライトを失格とする。重大な危険行為をした選手、及び故意に不正をしたり、大会規定に違反した選手はその時点で大会失格となる。競技規定最終頁を参照のこと。

### 【タスクコミッティー】

タスクコミッティーとは2～3 名の参加選手、大会競技委員長からなる。タスクコミッティーは競技内容を、安全面に注意を払うことができる限りの情報を集め協議し、その決定事項に関しては、選手全員の同意を求める必要がある。

### 【タスクコミッティーの役割】

その日の気象予報に応じた、適切な飛行空域と、テイクオフエリアを決める。その日のタスクを設定する。

### 【セーフティーコミッティーとその役割】

セーフティーコミッティーは、選手から2 名選考される。セーフティーコミッティーはテイクオフ周辺を含めて飛行コース上が危険なコンディションになったときに、大会競技委員長にそれを連絡する。大会競技委員長はその情報を基に競技を続行するかどうかを決めなければならない。ただし競技を続行するかどうかの最終的な判断は飛行中のパイロット個人が下す。また、タスクコミッティーにより決められた当日のタスク内容が安全に行えるかどうかを確認する。

### 【大会競技委員長】

大会競技委員長は、エリアに精通した人たちからの情報(空中から、地上から)と意見を組み込みその日に合ったタスク案を提示することができる。大会競技委員長は、飛行中のセーフティーコミッティーに状況の変化の確認をすることができる。ただし、選手が競技委員長を兼ねることはできない。

### 【ブリーフィング】

ブリーフィングにはジェネラルブリーフィングとタスクブリーフィングとがある

#### 1.ジェネラルブリーフィング

参加選手は、大会主催者が行うジェネラルブリーフィングに参加しなければならない。その重要なインフォメーションは、公式掲示板に掲示される。

#### 2.タスクブリーフィング

タスクブリーフィングは気象情報、エリア地図、パイロン写真を加味してテイクオフエリア付近で、参加選手全員に対して行われる。競技内容は漏れなくタスクボードに記載される。ブリーフィング終了から、ウィンドオープンまでは最低15分程度の余裕を持たせる。

#### 3.参加選手の責任

参加選手全員はブリーフィングの内容、タスクボードの記載事項に関して、正しく理解しなければならない。

### 【結果の掲示】

結果の仮発表は、可能な限り早く掲示する。仮発表後1 時間以内にコンプレインの受付を行う。すべてのコンプレイン、抗議を受け付け、結果訂正後、大会競技委員長の確認を受け結果の正式発表とする

【不服申立て(コンプレイン)】

コンプレインは訂正してもらうことが目的であり、抗議(プロテスト)を行うものではない。競技中何かに不満を持った場合、先ず担当役員にその処置につき援助を依頼する。その処置に不満がある場合、選手は競技委員長又はその指定する役員にコンプレインを行うことができる。このコンプレインは不満があった場合直ちに行い、迅速に処理しなければならない。

【ペナルティーおよび失格】

競技委員長は、競技者が競技規則に違反した場合、違反者にペナルティーを科すことができる。

ペナルティーの程度

1. 重大な違反にはその日のタスクの0スコアーが科せられる

2. スポーツ精神に反する行為は、大会失格となる

ペナルティーは、当該ペナルティーが科せられた日の結果表に記載される

【抗議(プロテスト)】

上記に関する処置に対して抗議がある場合は、競技開始前に行わなくてはならない。抗議は、指定された時間内に書面で大会競技委員長に提出しなければならない。供託金は1万円とする。抗議が認められた場合は返却し、認められなかった場合は没収される。

【陪審員】

陪審員は、大会競技委員長、JHF競技委員長もしくは代表者、タスクコミッティー(選手2〜3名のうち1名)からなる

【抗議の処理】

大会競技委員長は、いかなる抗議も遅延なく陪審員に通知しなければならない。

【審査】

陪審はいかなる抗議についても、該当するFAI 規則および、競技規則に基づいて、双方の意見を聴取する。

処罰と決定事項

競技委員長は、結果および審査の概要を、公表しなければならない。

【事故及び損害賠償】

大会期間中、万一事象や傷害、損害が生じた場合、フライトエアールール及び大会(競技)規則に則り選手本人の責任において速やかに処置を行い大会本部に報告をする。選手は主催者及び大会関係者に対して責任追求、損害賠償などの要求を決して行わないこと。

【フライトの成立】

物理的に全選手がテイクオフするだけの時間(当日の参加者×1分)ゲートが開いており(選手が同時にテイクオフすることが可能な複数のゲートがある場合はその合計オープン時間)、なおかつデイクオリティが0を超えた場合。あるいは当日参加選手全員がテイクオフし、なおかつデイクオリティが0を超えた場合競技は成立する

【大会の成立】

大会成立はデイクオリティが合計0.8を超え、尚且つ0.5以上が1本以上成立している場合。

【成績発表】

得点計算が終わり次第、公式掲示板にてフライト成績を仮発表する。正式発表は翌日の受付時間とする。成績発表後定められた時間以内に異議申し立てがなければその成績は公式のものとする。表彰式以前で計算などの明らかな運営側のミスがあった場合成績の修正ができる。

【順位の決定】

大会期間中の合計得点で順位を決定する。10位以内の選手の合計得点が同点の場合、ゴールした数の多い方が上位とする。

【大会役員の権限】

大会中は大会役員の指示に従わなければならない。大会役員の指示に従わなかったり、競技に支障をきたす行為をした選手には警告を与え、そのフライトを失格とする場合がある。警告を2回受けた選手は大会失格とする。また警告1回のみとなった場合は、警告を受けた選手はそのフライト得点の20%を減点する。競技規定の最終項「飛行禁止ランディング禁止区域及び罰則」参照とする。

【その他】

ポイント計算、得点計算はJHFルールブックによるものとする。

【スポーツクラス】

競技経験の少ないキングポスト付パイロット者も競技を楽しめるように設定されたクラス

参加資格を以下のように制限する。オープンクラス同様 JHF フライヤー会員登録が有効で、デジタル無線機を所有する事。

猪之頭エリア安全セミナー受講済み(大会当日猪之頭エリア安全セミナー修了証を必ず持参)かつ、いずれかのクラブに所属している者とする。下記はパイロット証のみ対象

1. 過去1年以内に西富士エリアでのソアリング飛行経験が3回以上ある者。
2. パイロット証取得後、1年以上もしくは50時間以上の飛行経験がある者。
3. 上記2項に該当しない者でも、十分な技能と経験があり、担当教員から推薦がもらえる者。  
担当教員の推薦は下記の推薦状に署名してもらい、大会初日に提出すること。

・スポーツクラスはオープンクラスと別途タスクを組んで競技、表彰を行う。

・ルールはオープンクラスと同等とする。タスク距離はオープンクラスより短いタスクを設定する。スタートゲートオープン時間はオープンクラスと時間をずらして設定する。

【緊急連絡先】

病院	フジヤマ病院	0544-54-1211
	富士宮市緊急医療センター	0544-52-9999
警察 110	富士宮警察署	0544-23-1212
消防 119	富士宮市芝川町消防組合	0544-54-1711